

受賞者からのコメント

対象：保健医療学部理学療法学科 3・4年
保健医療学部理学療法学第二講座 教授 片寄 正樹
<p>「授業を行うにあたって工夫していること」</p> <p>理学療法治療学では、授業の前半で具体的検討症例を提示したPBですすめ、学生自身が学習する上での臨床問題解決プロセスに必要な手順を認識できるように工夫しています。</p> <p>後半部分では、教員が解説と合わせてチームディスカッションにより各自の思考プロセスの検証をする時間を確保し、自己学習を効率よくすすめるポイントを提示しています。</p>
<p>「学生への要望・アドバイス等」</p> <p>検討症例に対する評価や治療計画の立案において、不足と感じた知識は箇条書きでかまわないのでノートに記録しておくといよいでしょう。このノートを定期的に振り返り自己学習を深めていくトリガーとできると思います。</p> <p>自分が何を理解していないのかを知ることは、意外に難しいものです。</p>